

五輪前後に（事前：1 万人＋事後：1 千人）アンケート調査を実施

平昌冬季五輪の選手に関する調査

（調査期間：五輪前 2018 年 1 月 31 日～2 月 2 日／五輪後 2018 年 2 月 26 日～28 日）

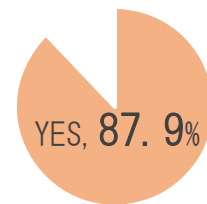
MVP(満足度)	印象度	話題性
トップはいずれも		
羽生 結弦 （フィギュアスケート）		
「完璧。けがやブランクを感じさせない絶対王者の演技に感動」（兵庫県 50 代女性） 「あのけがからよく立ち直り、素晴らしい気迫で演技していた」（北海道 60 代男性）		

▼部門別ランキング

順位	知名度アップ	%	ブレイク度	pt
1 位	藤沢 五月 （カーリング）	+57.2	高木 菜那 （スピードスケート）	55.9
2 位	高木 菜那 （スピードスケート）	+54.5	原 大智 （フリースタイルスキー）	52.9
3 位	吉田 知那美 （カーリング）	+43.7	藤沢 五月 （カーリング）	51.9

▼意識調査結果

日本選手のメダル獲得数（金 4・銀 5・銅 4）に満足している



最も印象に残った海外選手

「15 歳とは思えない圧巻のパフォーマンス」（愛知県 30 代男性）
「基礎点が 1.1 倍になる演技後半で 7 回のジャンプを決めたから」（埼玉県 20 代女性）

アリーナ・ザギトワ
（ロシア/フィギュアスケート）

■この資料に関するお問い合わせ先

産業能率大学 企画広報部企画広報課

電話：03-3704-9040 / E-mail：koho@hj.sanno.ac.jp

産業能率大学スポーツマネジメント研究所（所長：情報マネジメント学部教授 中川直樹）は、2月9日～25日まで開催された平昌冬季五輪の前後に「平昌冬季五輪の日本代表選手」に関する調査を実施しました。事前調査は1月31日から2月2日まで1万人を対象に平昌冬季五輪に出場する日本代表全124選手の「認知」や「注目」などを尋ね、事後調査は2月26日から28日まで事前調査の回答者から1千人を抽出し、選手の「視聴」や「満足」などについて尋ねました。いずれもインターネット調査会社を通じて実施しています。

調査の結果、「MVP（満足度）」「印象度」「話題性」の1位はいずれもフィギュアスケートの**羽生結弦**選手でした。右足首のけがからの復帰戦となった今大会で、同種目66年ぶりの2大会連続の金メダルを獲得したことが高く評価されました。大会前後で最も知名度が上がった選手は、カーリングの**藤沢五月**選手。正確なショットで銅メダル獲得に貢献したほか、競技以外でも注目を集めました。事後の「満足率」から事前の「注目率」を引いて算出したブレーク度の1位は、女子チームパシュートと新種目マススタートで2個の金メダルを獲得したスピードスケートの**高木菜那**選手でした。

調査の設計・分析は、過去の五輪（北京、バンクーバー、ロンドン、ソチ、リオ）でも調査を実施した同研究所の小野田哲弥研究員（情報マネジメント学部准教授）が担当しました。本調査について小野田研究員は「大会前・大会後ともに日本代表の全選手を対象にしているため、各選手の知名度上昇や期待と満足との差分を定量的に測ることができた。また満足の理由も尋ねているため、視聴者が感動するポイントなども定性的に把握できた。今回新たに話題性の指標も取り入れたが、メダルの色に留まらない選手評価の可能性について、さらに研究を重ねたい」と話しています。

調査概要

調査方法：インターネット調査

調査期間：①事前調査：1月31日～2月2日／②事後調査：2月26日～2月28日

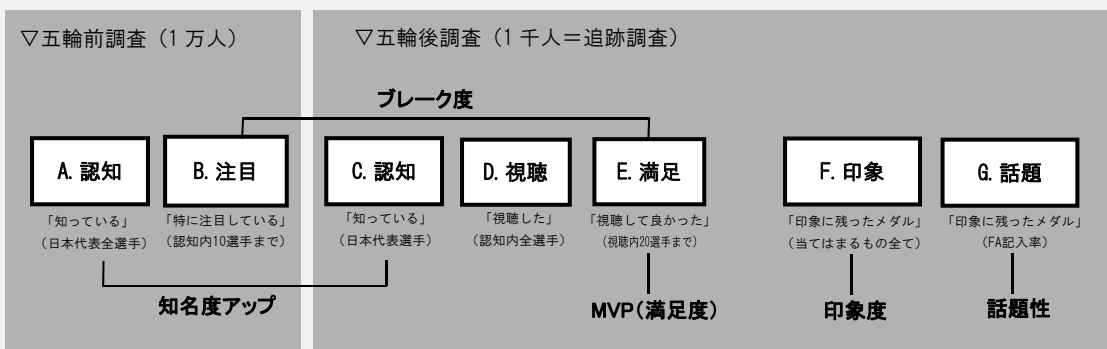
調査対象：①20代～60代の男女 計1万人／②20代～60代の男女 計1千人（①から1千人を抽出して追跡調査）

※サンプル割付（地域・年代・性別）は、総務省統計局「人口推計（2016年10月1日現在）」（2017年4月14日公表／調査時最新データ）に準拠

各部門について：

- M V P（満足度）＝ 視聴した選手のうち「特によかった」と回答された比率。（視聴内20選手まで）
データの信頼性を確保するため、認知率5%以上の選手が対象。
- 印象度＝ 日本選手団が獲得したメダルについて「印象に残っている」ものを回答してもらった。
全回答者数（1千人）を母数に「印象に残っている」と回答された比率。
- 話題性＝ 「印象に残っている」と回答されたメダルについて、理由をFA（自由記述）で尋ねた。
それぞれ「印象に残っている」の回答者を母数にFAが記入された比率。
- 知名度アップ＝ 事後調査「認知率」－事前調査「認知率」より算出。
- ブレーク度＝ 事後調査「満足率」－事前調査「注目率」より算出。

▼分析フレーム



◆データ集

【満足度】

1 位 羽生 結弦（フィギュアスケート）

2 位 小平 奈緒（スピードスケート）

3 位 高木 美帆（スピードスケート）

満足度1位（MVP）は、フィギュアスケートの羽生選手となりました。けがの影響を感じさせない素晴らしい演技で、同種目66年ぶりとなる2大会連続での金メダル獲得が評価されました。2位は、スピードスケートの小平選手。期待に応えて日本女子スピードスケート初の金メダルを獲得したことなどが評価されました。3位は今大会で金、銀、銅の3色のメダルを獲得した高木美帆選手。主な理由として、前回ソチで代表から落選した悔しさをバネに努力を積み重ねた「姿勢」に対する声も多く見られました。

【満足度：トップ10】

順位	選手名（競技名） ※敬称略	%	主な理由
1	羽生 結弦（フィギュアスケート）	87.6	「あのけがからよく立ち直り、素晴らしい気迫で演技していた」（北海道60代男性） 「快挙。観ていて力強さが伝わってきた」（鹿児島県60代女性） 「66年ぶりの2大会連続金メダル」（岡山県40代女性） 「完璧。けがやブランクを感じさせない絶対王者の演技に感動」（兵庫県50代女性）
2	小平 奈緒（スピードスケート）	86.9	「500mの圧巻のスクーティングでオリンピックレコードを出した」（長野県50代女性） 「金メダルもすごかったが、他の選手への心遣いも見事。真のオリンピック」（京都府60代女性） 「日本女子初のスピードスケート金メダル」（広島県60代男性） 「主将としての責任をはたし、素晴らしい人間性に感銘を受けた」（宮崎県60代女性）
3	高木 美帆（スピードスケート）	80.1	「姉と一緒に輝いていた。天才だけど努力家」（福岡県60代女性） 「金銀銅獲得はなかなか見られない」（栃木県40代男性） 「パシュートではとてもカッコよく何回見ても感動する」（大阪府50代女性） 「努力の人、ストイックの塊。五輪の間も成長し続けての金メダル」（秋田県40代女性）
4	高木 菜那（スピードスケート）	76.7	「妹と仲良くメダル獲得。素晴らしい姉妹」（福岡県60代女性） 「日本の女性選手史上初の1大会2つの金メダル」（大阪府60代女性） 「マスタートの初代チャンピオンになれた」（兵庫県60代女性）
5	宇野 昌磨（フィギュアスケート）	75.3	「転倒しても笑顔を見せて最後まで自分の演技を見せた」（北海道40代男性） 「凄い勢いで成長している。日本のトップになると思う。」（東京都60代女性） 「銀メダル、躍進だと思う。次は金メダルを」（埼玉県40代女性）
6	藤沢 五月（カーリング）	74.1	「いつも笑顔を決やらずみんなを引っ張っていた」（北海道60代女性） 「スキップとしてチームを牽引した」（静岡県40代男性）
7	平野 歩夢（スノーボード）	72.1	「高難度の技を連続で取り入れた素晴らしい滑りだった」（神奈川県50代女性） 「ショーン・ホワイトとの戦いは歴史に残るものだ」（佐賀県30代男性）
8	高梨 沙羅（スキージャンプ）	70.0	「4年間の思いが込められたいいジャンプだった」（福岡県40代女性） 「念願のメダルが取れて、とても感動した」（神奈川県40代女性）
9	原 大智（フリースタイルスキー）	59.0	「平昌オリンピックの日本人最初のメダル獲得！」（山口県60代男性） 「モーグル男子で初めてメダルを取った」（北海道60代女性）
10	渡部 暁斗（ノルディック複合）	55.2	「怪我しても闘闘精神がすごい」（奈良県60代男性） 「肋骨骨折していたにも関わらず頑張って銀メダルを取った」（長野県50代女性）

※視聴した選手のうち「特によかった」と回答された比率。データの信頼性を確保するため、認知率5%以上の選手が対象。

【印象度】

1 位【金】羽生 結弦（フィギュアスケート男子シングル）

2 位【金】小平 奈緒（スピードスケート女子 500m）

3 位【金】スピードスケート女子チームパシュート

高木美帆

菊池彩花

佐藤綾乃

高木菜那

印象度のトップは右足首のけがから復活し、金メダルを獲得した羽生選手。競技後に痛めていた右足首を押さえるシーンも印象的でした。2 位はスピードスケート女子 500m で金メダルを獲得した小平選手。3 位は女子チームパシュートで、「隊列の美しさ」に対するコメントが多く見られました。

【話題性】

1 位【金】羽生 結弦（フィギュアスケート男子シングル）

2 位【銅】カーリング女子

藤沢 五月

吉田 夕梨花

吉田 知那美

鈴木 夕湖

本橋 麻里

3 位【金】小平 奈緒（スピードスケート女子 500m）

話題性のトップも羽生選手。2 位は銅メダルを獲得したカーリング女子が入りました。競技中の北海道なまりの会話や“おやつタイム”と呼ばれたハーフタイム中の食事風景にも注目が集まりました。3 位は小平選手。韓国のイ・サンファ選手と試合後、健闘を称えあう様子が話題になりました。

【印象度：トップ3】

順位	選手名（種目名）※敬称略	%
1	羽生 結弦（フィギュアスケート男子シングル）	79.8
2	小平 奈緒（スピードスケート女子 500m）	69.7
3	スピードスケート女子チームパシュート 高木 美帆 菊池 彩花 佐藤 綾乃 高木 菜那	67.5

※全回答者数（1 千人）を母数に「印象に残っている」と回答された比率。

【話題性：トップ3】

順位	選手名（種目名）※敬称略	%
1	羽生 結弦（フィギュアスケート男子シングル）	47.5
2	カーリング女子 藤沢 五月 吉田 夕梨花 吉田 知那美 鈴木 夕湖 本橋 麻里	42.3
3	小平 奈緒（スピードスケート女子 500m）	40.3

※「印象に残っている」を選択した回答者を母数にFAを記入した比率。

（主な理由）		
選手名（競技名） ※敬称略	FA 数	主な理由
【金】羽生 結弦 （フィギュアスケート）	379	「演技が終わって右足を押さえているシーンが印象的だった」（静岡県 30 代女性） 「技術はもとよりメンタルの強さも尊敬する」（大阪府 40 代女性） 「記憶に残るスケーティングだった」（岐阜県 40 代男性）
【金】小平 奈緒 （スピードスケート女子 500m）	281	「韓国の選手と、健闘を称えあう姿が美しかった」（福岡県 40 代女性） 「オリンピック記録更新。悲願達成」（東京都 40 代女性） 「完璧。期待に応える凄さに感動」（富山県 60 代男性）
【金】スピードスケート 女子チームパシュート	270	「素晴らしいチームワークに世界が驚いたと思う」（兵庫県 60 代男性） 「初めて真剣に見た競技だったが、面白くて見入ってしまった」（愛知県 20 代女性） 「チームワーク、縦一列の美しさが素晴らしかった」（広島県 60 代女性）
【銅】カーリング女子	240	「落ち着いていて雰囲気の良いチームという印象。話し言葉が本当に可愛らしかった」（山梨県 50 代女性） 「終始笑顔での試合運びと感動のラスト」（大阪府 40 代男性） 「カーリング競技の面白さがわかったから」（岐阜県 60 代女性）
※「印象に残っている」選択した回答者を母数にFAを記入した比率。		

【知名度アップ】

1 位 藤沢 五月（カーリング）

2 位 高木 菜那（スピードスケート）

3 位 吉田 知那美（カーリング）

知名度アップのトップ10に、カーリング女子、女子チームバシュートの選手全員がランクインしました。1位の藤沢選手は、事前調査の知名度は6.2%でしたが、事後調査では63.4%と10倍以上に。2位の高木菜那選手も、事前の知名度（26.4%）から3倍増（80.9%）と五輪前後で知名度が大きく上昇しました。

【ブレイク度】

1 位 高木 菜那（スピードスケート）

2 位 原 大智（フリースタイルスキー）

3 位 藤沢 五月（カーリング）

ブレイク度1位は、新種目女子マスタートと女子チームバシュートで金メダルを2つ獲得した高木菜那選手でした。事前の注目度は全選手（124選手）中18位でしたが、活躍満足度は全体の4位と今大会で一気にブレイクしました。2位は、平昌冬季五輪で日本人メダル第一号となった原選手、3位は知名度アップで1位になったカーリングの藤沢選手でした。

【知名度アップ：トップ20】

順位	選手名（競技名） ※敬称略	%
1	藤沢 五月（カーリング）	+57.2
2	高木 菜那（スピードスケート）	+54.5
3	吉田 知那美（カーリング）	+43.7
4	佐藤 綾乃（スピードスケート）	+43.3
5	吉田 夕梨花（カーリング）	+40.1
6	鈴木 夕湖（カーリング）	+37.8
7	菊池 彩花（スピードスケート）	+36.6
8	本橋 麻里（カーリング）	+35.0
9	原 大智（フリースタイルスキー）	+32.1
10	高木 美帆（スピードスケート）	+32.0
11	平野 歩夢（スノーボード）	+28.6
12	小林 陵侑（スキージャンプ）	+26.6
13	小平 奈緒（スピードスケート）	+25.9
14	渡部 暁斗（ノルディック複合）	+23.9
15	鬼塚 雅（スノーボード）	+22.4
16	小林 潤志郎（スキージャンプ）	+21.4
17	坂本 花織（フィギュアスケート）	+20.9
18	ウィリアムソン師円（スピードスケート）	+20.1
19	岩渕 麗楽（スノーボード）	+17.1
20	田中 刑事（フィギュアスケート）	+15.7

※「（事後調査）認知率」－「（事前調査）認知率」より算出。

【ブレイク度：トップ20】

順位	選手名（競技名） ※敬称略	pt
1	高木 菜那（スピードスケート）	55.9
2	原 大智（フリースタイルスキー）	52.9
3	藤沢 五月（カーリング）	51.9
4	吉田 夕梨花（カーリング）	44.6
5	吉田 知那美（カーリング）	43.6
6	佐藤 綾乃（スピードスケート）	41.52
7	鈴木 夕湖（カーリング）	41.46
8	菊池 彩花（スピードスケート）	41.0
9	本橋 麻里（カーリング）	33.5
10	高木 美帆（スピードスケート）	31.8
11	山口 剛史（カーリング）	30.2
12	平野 歩夢（スノーボード）	29.5
13	小林 陵侑（スキージャンプ）	26.6
14	両角 友佑（カーリング）	25.8
15	小平 奈緒（スピードスケート）	25.2
16	石田 正子（クロスカントリースキー）	23.4
17	宇野 昌磨（フィギュアスケート）	20.5
18	清水 徹郎（カーリング）	20.1
19	両角 公佑（カーリング）	20.0
20	岩渕 麗楽（スノーボード）	19.1

※「（事後調査）満足率」－「（事前調査）注目率」より算出。

【最も印象に残った海外選手】

1 位 アリーナ・ザギトワ（ロシア／フィギュアスケート）

2 位 ショーン・ホワイト（米国／スノーボード）

3 位 エフゲニア・メドベージェワ（ロシア／フィギュアスケート）

ハビエル・フェルナンデス（スペイン／フィギュアスケート）

印象に残った海外選手の1位は、フィギュアスケートで金メダルを獲得したロシアからの五輪選手（OAR）のアリーナ・ザギトワ選手となりました。15歳という年齢ながら、基礎点の高い後半に連続ジャンプを立て続けに成功させるなど圧巻のパフォーマンスを披露しました。2位は、スノーボードで平野歩夢選手との激闘の末、金メダルを獲得したアメリカのショーン・ホワイト選手でした。3位はロシアからの五輪選手（OAR）のエフゲニア・メドベージェワ選手。その美しい演技に多くの賞賛が集まりました。同じく3位に入ったのは、フィギュアスケートで羽生、宇野、両選手とともに表彰台に上がったスペインのハビエル・フェルナンデス選手。印象に残った理由には、エキシビションでのユニークな演技についてのコメントも多く見られました。

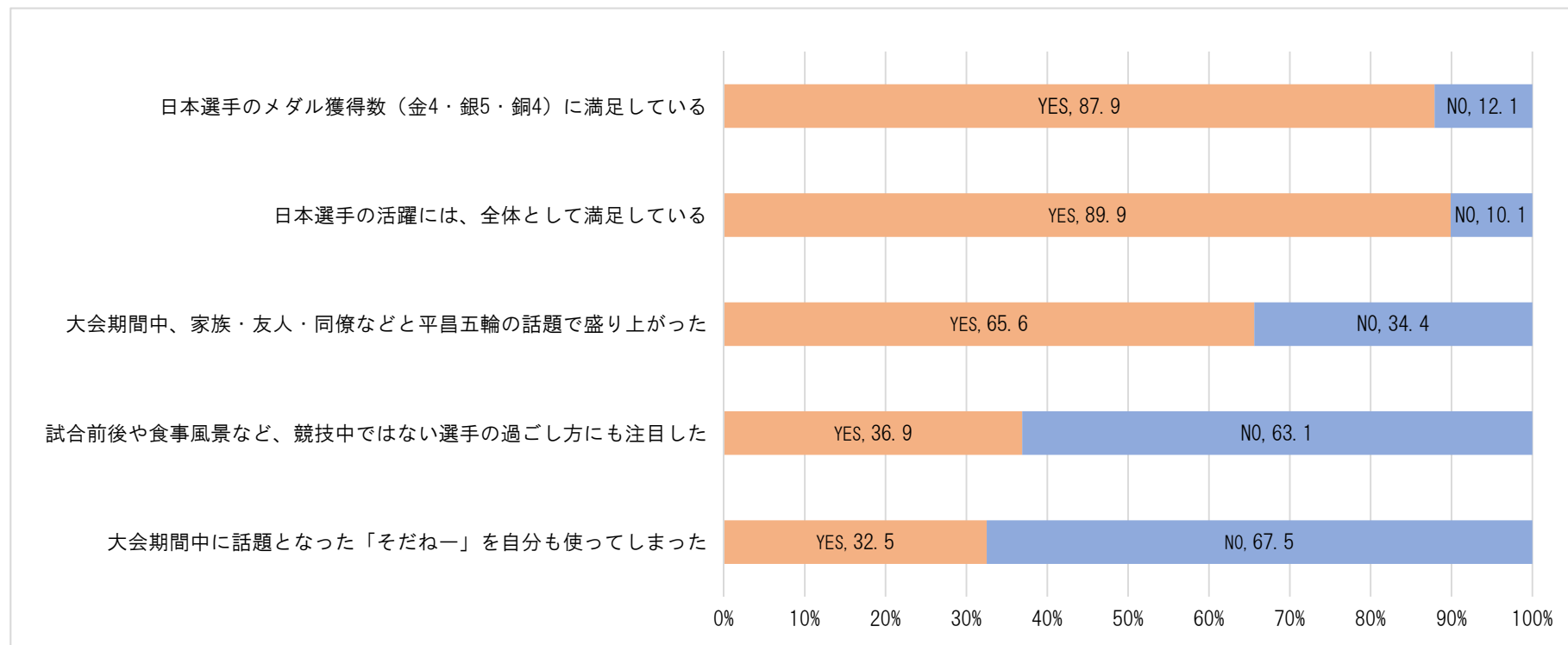
【最も印象に残った海外選手：トップ10】

順位	選手名（国籍／競技名）	票数	主な理由
1	A. ザギトワ ロシア（OAR）／フィギュアスケート	115	「15歳とは思えない圧巻のパフォーマンス」（愛知県 30代男性） 「基礎点が1.1倍になる演技後半で7回のジャンプを決めたから」（埼玉県 20代女性） 「彗星のように現れて完璧な演技をした」（鳥取県 60代女性）
2	ショーン・ホワイト 米国／スノーボード	114	「決勝の3回目。王者の貫禄を見せつけられました」（広島県 30代女性） 「平野選手との激闘。大けがからの復帰。すごい選手だと思った」（福岡県 40代女性） 「平野歩夢の演技の後に更に超えてくる王者の貫禄」（熊本県 20代女性）
3	エフゲニア・メドベージェワ ロシア（OAR）／フィギュアスケート	42	「圧倒的な実力と芸術性」（兵庫県 60代男性） 「銀メダルだったけど、素晴らしい演技に感動した」（長崎県 40代女性） 「美しい演技で見ごたえがあった」（兵庫県 60代女性）
	ハビエル・フェルナンデス スペイン／フィギュアスケート	42	「エキシビションの演技は本当にユーモラスで楽しませてくれた」（山梨県 50代女性） 「羽生選手と一緒に喜んでいる姿が良かった」（大阪府 40代女性） 「エキシビションでユニークな人柄と衣装が強烈だった」（埼玉県 20代女性）
5	イ・サンファ 韓国／スピードスケート	34	「競技後に小平奈緒との互いに称えあった場面に感動した」（神奈川県 60代男性） 「小平選手と抱き合い会話する姿が印象的だった」（長野県 30代女性）
6	キム・ウンジョン 韓国／カーリング	19	「眼鏡が似合ってきれいだった」（千葉県 40代女性） 「コントロールの正確さ」（兵庫県 40代男性）
7	エステル・レデツカ チェコスロバキア／アルペンスキー&スノーボード	15	「別競技でそれぞれ金メダルを取ったのはすごい」（福岡県 50代男性） 「とんでもないセンス」（愛知県 30代女性）
8	キム・ボルム 韓国／スピードスケート	14	「銀メダルを獲得した後、土下座していたから」（宮崎県 20代女性）
9	ネイサン・チェン 米国／フィギュアスケート	6	「見事なフリー演技で驚異の追い上げ」（大阪府 50代女性）
10	ピタ・タウファトファ トンガ／ノルディックスキー	4	「すごくオリンピックを楽しんでいて、周りも楽しませてくれたから」（大阪府 40代女性）

※全回答者数（1千人）を母数に「もっとも印象に残った海外選手」として回答された票数。

※選手を特定できる記述については有効票とした。

【意識調査結果】



平昌冬季五輪についての意識調査も行いました。冬季五輪で過去最多のメダルを獲得（金4・銀5・銅4）した平昌五輪。メダル獲得数については、87.9%が「満足している」と回答しました。前回のソチ大会ではメダル無しに終わったスピードスケート陣が、今大会では計6個（金3・銀2・銅1）のメダルを獲得し、日本のメダル獲得数に大きく貢献しました。また日本選手の活躍についても約9割が「満足」と回答しています。今大会はメダル獲得や選手の活躍だけでなく、選手同士のやりとりやライバルとの友情など競技以外の選手たちの様子にも注目が集まりました。意識調査でも65.6%が「大会期間中、家族・友人・同僚などと平昌五輪の話題で盛り上がった」と回答しています。